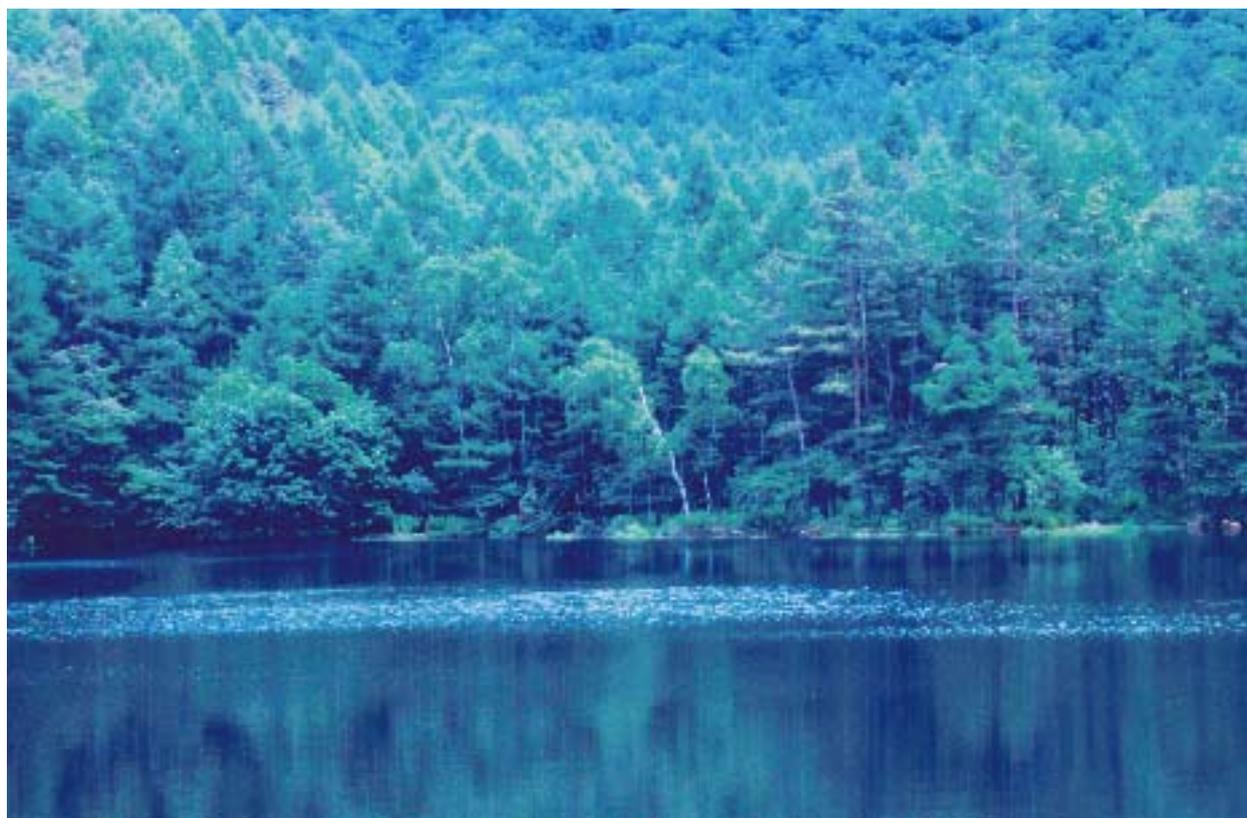


広報  
266 号

# 東京都製紙原料協同組合

発行所  
東京都製紙原料協同組合  
台東区台東 3-16-1  
TEL (3831) 7980  
発行人 近藤 勝  
編集広報委員会



東山魁夷の代表作「緑響く」のモデルとして知られる奥蓼科の御射鹿(みしやか)池。

城南支部 梶野泰一

### 〈 主 な 内 容 〉

時の視点		第7回組合ゴルフコンペ	12~13
総務部部長挨拶	総務部長 高山昭二郎	2 組合員の広場	13~15
直納部部長挨拶	直納部長 赤染清康	3~4 「今日、この頃」その(6)	
集荷部部長挨拶	集荷部長 宮崎勝保	4 二世は花盛り 元事務局長 三沢康男	
広報部部長挨拶	広報部長 清水弘允	5 ♪ことわざミニ知識♪	15
事業部部長挨拶	事業部長 坂田 智	5~6 支部スケジュール	16
静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会		6~9 お知らせ	17
新理事挨拶	理 事 人見一男	10 「8・9月会議・催事予定」「古紙価格」「訃報」	
新組合員となって		11 会議概要〔6月〕	18~23
文京支部 (株)グリーン 齋藤浩二		編集後記	広報部部长 清水弘允 23
集荷部委員会報告	集荷部副部长 石橋駒雄	12 広 告	23~24

\*この広報用紙は、古紙再生紙です。

## 時の視点

### 総務部部長挨拶



総務部長 高山 昭二郎

一期留任ということで総務部の抱負をと広報から案内がきて、前期を振り返ってみる。

「総てを務める」。会社組織では課に分散して対応する事になりますが、組合組織の中では他の「部」の方々に大半以上受持っていたいただいと思われま。能力的にも「浅学非才」自分自身止むを得ない事と思っております。

上田副部長には申し訳ありませんが、若く有能な上田副部長に早く委譲出来たらと思っております。又、特に感謝している事は、事務局の存在です。夏目専務理事には総務の仕事の8割方受持っ

ていただいております。有能な事務局を持たた事に改めて感謝しております。

現状、総務の仕事としては、会館内の「テナント」の管理。昨年から今年にかけ一部の「テナント」で、今迄にないトラブルがありましたがその対応処理を無事終わらせてくれました。今後の「テナント」管理に貴重な経験になりました。又、月に平均3回～4回有る会議の案内、出席者の把握、私もうっかり返事が遅れ、再ファクスをもらい迷惑をかけていますが、会議後の懇親会、自費出席とはいいながら当日の「ドタキャン」。宴席で苦慮している姿を見る度、申し訳ないと思っております。

事務局という多忙な職種、又、専務理事という役職上、古紙センター、全原連、関東商組等、その他の組合の会議に出席するなど、外出する事も多い中、総務として心苦しく思っております。少しでも負担を軽く出来る様、上田副部長にもお願いするつもりですが、現状をあまり変える事が出来ないのが本音であります。

今後とも事務局、専務理事、各部の皆様には総務に対して絶大なる支援をお願い致しまして、総務部の所信にはなっていない様ですがお許し願います。

暑 中 御 見 舞

## 直納部部長挨拶



直納部長 赤染 清康

直納部長を拝命して、一期二年を過ぎ、二期目に入りましたが、その間の激的な市況の変化につきましては、前回述べましたので、今回は直納部の事業内容につきまして、組合員の皆様により良く御理解頂こうと思ひ述べさせていただきます。

直納部（私の理解では、メーカーに一社でも少しでも直納していれば、直納部委員としての資格があります。）は現在、委員52社で本部賦課金の他に月2千円の会費を頂いております。

最初に委員会ですが、年6回2月、6月、10月に直納部委員会と集直合同委員会（集荷部と共催）を開催し、古紙全般の市況、銘柄別の市況動向、製紙業界及び古紙業界（集荷・直納）の動向、発生先（坪先）の動向、その結果、組合としての、家庭紙業界及び特更メーカーへの取り組み

方等を、数多くの情報を基にし、活発な意見を集約して組合（集荷部、直納部）の対需要家の方針、方向性を決めています。

2番目に、正副理事長及び正副部長で、毎月の組合共販輸出事業の検討会をしています。各商社の入札の中からケント紙で一番条件の良い商社に販売を決定します。これには国内の需給安定という意味がありますが、去年の暮れより輸出相場低迷の為、苦戦を強いられています。

3番目に、年に3回静岡県紙業協会家庭紙部会、静岡県製紙原料商業協同組合と合同で、製品市況、古紙市況動向に関する懇談会を行っています。具体的な価格については、公取に抵触するので出来ませんが、現在の状況と今後の市況予測がそれぞれの立場で語られるので、かなり精度の高い予測となるので有意義といえましょう。また、当組合としては需要業界とのコミュニケーションも計れますし、集荷部の皆さんの状況も、メーカーに理解してもらうことができます。これと同じ事を、特更原料部会として、特更メーカーと東京協組で行っています。

4番目として、毎年直納部主催で海外研修視察旅行を11月後半に行っています。日本の古紙需給、市況は、今では海外市場を抜きには考えられ

暑 中 御 見 舞

ません。国内では回収量と消費量のギャップから、古紙業界としては輸出せざるを得ません。アジア向けの中で大半が中国向けですが、我々組合としても古紙を輸出するだけでなく、輸出先の現地メーカー及び古紙業界の動向を知り、実際に目を見て、直接話しを聞く必要があります。また、特に産業古紙の需要先を開拓して行かなければなりません。最近では日本国内もアジアも含めて、アジア地域の内需という見方をしなければ、国際資源の古紙をグローバルにみていけないそうです。この海外研修視察旅行は、毎年好評で集直合わせて20名以上参加頂いています。

最後になりますが、直納部としては、部員の親睦と研修を兼ねて毎年、納涼会と忘年会を開催しています。第1部では、共販輸出参加各商社の輸出先国とメーカーの市況報告、2部で懇親会を行っています。

この他、組合事業であり、古紙の坪先である東京製本工業組合、又、東京都印刷工業組合との懇親会では、集荷部と連携を取り、直納部として古紙全般及び産業古紙の市況説明を致しております。

このように、東京協組の直納部としては、今後も集荷部と連携を図り、少しでも組合員の利益となるような事業活動を行って参ります。さらなる

向上の為に、組合員の皆様のいろいろなご意見をお待ちしています。

## 集荷部部長挨拶



集荷部長 宮崎 勝保

本年度は、昨年末からの古紙価格の下落により集荷部としては経営に厳しい状態が続いている。又、印刷、及び製本業界の状況も厳しい為に逆有償をお願いする状態ではない。この様な現状に於いて集荷部員の結束や情報交換を行う。又、各支部に対し集荷委員会に出席できる委員を選任してもらい、より多くの参加者のもとに情報交換を行ってゆき、各支部の情報源としていきたい。又、東京都製本工業組合との古紙関係協議会、東京都印刷工業組合、東京都資源回収事業協同組合、更に静岡県紙業協会家庭紙部会等の会合に積極的に参加し、情報を収集していきたい。

暑 中 御 見 舞

## 広報部部長挨拶



広報部長 清水 弘允

引き続き広報部を担当する清水です。協副部長、高橋副部長ともども今年度も宜しくお願い致します。

広報部の事業計画は総会で承認された事業計画として5項目あります。

- 1) 広報誌を年6回発行します。2ヶ月に1回のペースですので比較的新しい組合活動について報告出来ると思います。それに組合本部、各支部の向こう2ヶ月の予定を掲載しますので、読者である組合員および関係者の皆さんは組合本部、各支部が何を計画しているか把握する事が出来ます。
- 2) 広報誌のデザインを総会号から変更しA4版、横書きにしました。以前より誌面が大きくなっただけ読みやすくなりました。ただ表紙のタイトル、図柄から項目まで殆ど変更していません。

今後改良すべき点はゆっくりと時間を掛けてやっていきたいと考えています。皆さんのご意見をお待ちしています。

- 3) 関連業界に関する情報をなるべく多く収集し、必要に応じて分析、答申をしたいと思います。要望書、声明文なども必要なときは起案します。
- 4) 組合ホームページの改良、維持管理および更新を行います。広報誌は過去4年分を含め最新号までホームページで読む事が出来ますのでアクセスしてみてください。
- 5) 今年は総会で理事改選がありましたので、総合名簿を発行する年です。秋の発行に向け総合名簿のあり方、広告依頼など皆さんのご意見、ご協力をお願いします。

## 事業部部長挨拶



事業部長 坂田 智

暑 中 御 見 舞

この度、引き続き事業部部長を拝命した坂田でございます。城南支部理事として15年程前から本部で役員をさせて頂いております。平成13年度より支部長も務めています。

現在の業界を取りまく環境は大変厳しいですが、すべての経済が100年に一度という状況下では、古紙業界だけではないということを念頭に前向きに生き残りをかけて努力をしていかなければならないのだと思います。2年程前より全原連が立ち上げた古紙商品化適格事業所、古紙リサイクルアドバイザー認定制度など、ジャパンプランドの競争力を高める為に、いろいろと明るい将来の為に手を打って頂いていると思います。当組合も全原連の賛助会員でありますから、組合員の競争力向上の為にもしっかりと取り組んでいかれる事をおすすめ致します。

事業部は、組合としての共済保険事業、損害保険事業。これは、保険商品を組合員にメリットのある価格で、大同生命とあいおい損保に提供頂いております。そしてETCによる高速道路の割引制度、又ガソリンカードによる組合員の方々への負担の軽減、利便性の向上に取り組んでいます。

2年続けて行なってきました労働時間等設定助成金制度。また昨年は、組合60周年記念行事を

大盛況でつつがなく終えられた事は半年前から何回もの会議を行い、又修正を何度も繰り返し検討してきた結果だったと思います。改めて60周年事業に御協力頂いた全組合員の皆様に紙上をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。これからも組合員の皆様のお役に立てる事を考えてまいりたいと思います。

## 静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会

平成21年6月25日(木)午後2時00分～

於) 富士工業技術支援センター

出席者: 静岡県紙業協会家庭紙部会 28名

(内、家庭紙メーカー 19名)

静岡県製紙原料商業組合 7名

東京都製紙原料協同組合 11名

### 三団体代表挨拶

丸富製紙(株) 宮崎取締役購買部長

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

イデシギョー(株) 井出会長が所要で欠席のため、本日は代りに大役を務めさせていただきます。有意義な会議にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

暑 中 御 見 舞

**近藤理事長** [東京都製紙原料協同組合]

今年2月に組合からメーカー側様に対して、集荷形態が壊れないような環境にしないで欲しい旨の要望を出しました。その際にメーカー側様から原料の安定的な供給を願う回答を多数いただきました。今、まさに、その事を話合う時期が来ているのではないかと感じています。今、全原連では国内古紙需給安定システム検討委員会を立ち上げ、古紙の余剰時や不足時にどう対応していくか積極的に取り組んでいく姿勢でいます。本日は色々な情報交換をしながら、ひとつひとつの問題を考えていきたいと思います。

**佐野理事長** [静岡県製紙原料商業組合]

昨年10月に開催された会議の時と今日は、雰囲気まるで違うように思われます。このところの古紙事情が変わってきているからだと感じます。これまでに経験した事のない在庫をかかえ調整をしている。輸出との関係も含めて安定供給をどのようにしていくかを、これまでの経験をふまえて考えていきたいと思います。

**古紙全般の市況について****赤染直納部長** [東京都製紙原料協同組合]

国内の市況動向は変化がない。洋紙メーカーは5月に消費が落ち込んだ。古紙の方では新聞、雑誌の消費実績が回復してきている。在庫整理が出来つつあるのではないかと。6月に入り洋紙メーカーの中では、若干、注文が入り始めた。ただ、板紙が厳しい状態である。国内は一進一退で、余剰分は輸出されている状態である。輸出量は年間500万トンに迫る勢いである。国内外とも原料については底を脱したのではないと思われる。今年に入り、すべての古紙が発生減。新聞の発行部数減、チラシは昨年対比20%減となっている。洋紙メーカー、板紙メーカーは生産を落としている。落とした分、発生も今後、落ちる。これから夏が過ぎ、秋需に向かった時、内需も改善され国内の生産調整も整っているのではないと思われる。現在は、発生減で低位安定状態である。

**家庭紙原料について****小林色上委員長** [東京都製紙原料協同組合]

古紙の発生は、4月は15～20%の発生減であった。ここへきて在庫がタイトになってきた。5月に入り発生が非常に悪い。今後、在庫が少なく

暑 中 御 見 舞

なっていくのではないか。景気の悪い中、秋口まで同じような発生状況が続くのではないかと思われる。洋紙メーカーが休んでいる分、発生は期待できない。

### 集荷関係より

#### 宮崎集荷部長 [東京都製紙原料協同組合]

古紙の発生は3月～4月は20%減、5月～6月は20～30%減の状況。原因は、出版物の減少、雑誌等の発行部数の減少ではないかと思われる。子どもたちが少なく本離れも影響しているのではないか。教科書等の学参物が減っている。本の厚さも薄くなっており生徒数も減っている。最近、老舗で中堅の印刷会社が倒産し、下請け会社に影響が出ている。集荷は、玉が減っているので仕事ができない状況になりつつある。集荷がなくなると選別のない物がメーカーに廻ってしまう可能性が高くなる。

### 静岡の状況について

#### [静岡県製紙原料商業組合]

・静岡でも発生が20～30%減っている。原料については、秋口に洋紙メーカーがフル活動すれば変化してくるのではないかと思われる。あとは

中国の輸出次第ではないか。

- ・産業古紙の発生は全体的に減っている。中小の印刷、製本関係は平均15%の発生減となっている。チラシの減少、雑誌類の発行部数の減少で回復のきざしが見えてこない状況である。秋需に向けて発生減になるとタイトな状況になるのではないかとと思われる。

### 家庭紙メーカーからの現状と意見

#### [静岡県紙業協会家庭紙部会]

- ・トイレットペーパーの状況については、原料、燃料の価格が下がってきた。製品価格は5月、6月と変わったようである。製品価格が下がってきている。家庭紙は需要に合った生産をしている。トイレットペーパーの出荷量は3年ほど変わっていない。今年の5月は、5%ダウンしており大手メーカーは売れ行きが良くない。今後、生産調整が続いていくのではないかとと思われる。原料については各社とも今年に入ってから順調に入ってきており、在庫もある程度持っている状況である。

暑 中 御 見 舞

## 質疑応答

**G: 原料業者 M: 家庭紙メーカー**

G - Q: 最近、輸入紙が入ってきていると言う話を聞くが、実際はどうか。

M - A: 輸入のトイレットペーパーはパルプ物がほとんどで毎月3000トンほど入ってきており、ここ最近では延びてきている。最近の物は、以前と比べると品質的にクリアされているが、再生紙と比べるとたいした量ではない。

G - Q: 今年の5月に出荷が5%ほど落ち込んだ理由は。

M - A: 3月が大手メーカーの決算期に当たり3月に多く売った。12月年末商戦の際、在庫をもって参戦した。大手の売りによる影響が出てくる時期ではないのか。ただ年間を通しては変わらないのではないのか。

G - Q: メーカーが考える製品の適正在庫はどのくらいなのか。

M - A: アイテムにより在庫量は変わるが、各社とも70%ぐらいが理想的ではないか。

G - Q: JIS企画は採用しているのか。

M - A: JISは取得時にコストがかかり、時代の流れとともに減ってきているのが現状である。ISOと内容が重複する面が多いのでISOに切り替えている所が多い。

G - Q: 製紙業界の中でCO2の排出を抑える等、環境問題の面で変わってきている所はあるのか。

M - A: 今まで使えなかった古紙を使っていく方向でいる。牛乳パック等も積極的に有効利用していく考えである。各社CO2の排出を抑える努力をしている。

M - Q: 中国のN社が日本国内にヤードをもうけたと聞いたが本当なのか。

G - A: N社の関連会社が東京に事務所をもうけアメリカや日本から古紙を購入しているが、ヤードをもうけているとは聞いていない。

M - Q: 印刷関係が良くないため下町の印刷会社から集荷ができないのではないのか。

G - A: 大手が下請けに出していない場合が多い。小ロットは小さな印刷屋が受ける。小さいなりにあった仕事をしている。

暑 中 御 見 舞

## 新理事挨拶



理事 人見 一男

新理事の御挨拶として、私の今迄の古紙業界への関わりを簡単に紹介させていただきます。

私は27歳で結婚し、同年に地元足利市にある古紙問屋に就職いたしました。そのときに初めてこの商売を知りました。

10年在籍した後、東日紙商株式会社の創立に参加、以来現在に至っております。その間22年が経過しましたが、出版社営業に東京、高井戸、京浜、墨田の各支店の開設に関わり、特に新規事業の立ち上げは真剣勝負で失敗は絶対に許されず、非常に精神的負担を強いられる毎日でした。しかしながら成功した後は非常に達成感があり、とてもやりがいのある仕事です。

その中でも特に印象に残った支店の開設がありました。墨田支店開設に関わった際の出来事です。

ヤード開設の告示をしたところ、地域住民の方から説明会を開いてほしいとのことで、早速地元の公民館に出向きました。そうしたところ頭からヤード建設をやめてほしいとの大合唱でした。開業は地域環境を大幅に損ない、今までの平穏な暮らしが出来なくなるとのことでした。理由は騒音、振動、埃、車輛の出入りが増えることで交通事故の危険が増す等、さまざまありました。どんな対策を講じたとしても、リサイクルの必要性は分かるが、自分たちのところではやってほしくない、の一点張りでした。開店の当日まで一部の住民の方は強固に反対の態度を崩してくれませんでした。それでもなんとか開業し3年が経過した現在、毎年地域住民のお宅へ訪問してお話を聞いていますが、開業以前と環境は変わらず安心したとの声もいただけるようになりました。

このような例もあるように、当業界はまだまだ社会的認知度が必ずしも高くないのが現状です。業界に入り32年、社業もまだまだの状態ですが組合の理事としての自信はありませんが、今までの少ない経験の中から少しでもお役に立つことが出来ればと思っております。

暑 中 御 見 舞

## 新組合員となって

文京支部 (株)グリーン 齋藤 浩二

新組合員となって抱負及び自己紹介を致します。

昭和20年7月11日生まれの63歳です。59歳で(株)齋藤英次商店を退職し、かねてより自分の会社である(株)グリーンを経営しているさなかです。

今回貴組合に加入した意図は、自分の目線を回収に重きを置き、これからの業界に関わってくる時代の流れを検証したい気持ちと、今まで自分が知りえない環境に順応できるかを見極めたい熱い気持ちで文京支部に入会しました。今身近に感じることは、この先というテーマを考えたとき、楽観できる業界ではない。何故なら、製紙会社の寡占化から端を発し、原料が輸出によってグローバル化になり、技術の発展により、薄ものに拍車がかかり、原料からエタノールが製造できるほど、用途が多様化になって、今では古紙はリサイクルの優等生という文字が過去になる時代もそう遠くない。現状に目を投じれば、誰もが欲が邪魔して、自家回収と称しての強引さが目立ち、問屋が回収業界に参入し、またその逆もある世の中であり、今までの業態を無視しているかのように見えます。

おそらく一言でいえば将来へのグランドデザインがない証しと言えます。

2、3日前の朝日新聞の記事で気になる事が掲載されていた。内容は「新聞ない町、できるだろう」新聞が生き残るには、ネット上のニュース提供を有料化する道しかないという議論が高まっている。今後について「米国内で新聞が完全に消えた主要都市はまだないが、それは間もなく起こりえるだろう」このように締めくくっている。今でさえ日本でも読者離れの状態で推移しているが、決して他人事ではない。

このように、業界自体そのものが警笛を鳴らされている今、相も変わらず顧客を取ったり、取られたりしている様を見ていると、これで本当に良いのか、自問自答する毎日です。もっと視点を変えてどのようにしたら、業界自体が生き残れるかを議論すべきテーマだと思います。

私はこの変革の中で、自らを必要とならば、支部員として最大限努力し、東京都製紙原料協同組合の一助になれば、これに勝るものはないと考えております。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

暑 中 御 見 舞

## 集荷部委員会報告

集荷部副部長 石橋 駒雄

日時 6月23日(火) 午後6時～

場所 組合会議室

出席 9名

製紙業界の大幅な落ち込みによる古紙価格の暴落と、慢性的な活字離れが進む中での産業古紙の発生減という二重苦の中で極度の不採算経営を強いられている集荷業界にあって、現状の把握と打開案を模索すべく上記に於いて情報交換と協議を行った。特に25日に迫った静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会に向けての意見集約を最優先課題とした。

会議は宮崎集荷部長の司会で進行し各委員から活発な意見が出されたが、その内容は概ね現状産業古紙の発生は20%～30%減と言われている。実感としては、それ以上の落ち込みで、取引先の経営状況も非常に厳しく、競り込みも多方面で散見されている。業界を取りまく全体が閉塞状況にある現在の状況では逆有償に踏み切るにも難しく、今は静観して早期の市況回復を待つしかないだろうと言うのが大勢との印象を受けた。

アウト業者の理不尽な競り込みについては、直納部の協力を得て、集荷部全体で対抗してゆく強硬手段も必要なのではないかという意見も委員から出された。

家庭紙メーカーとの懇談会に向けては、現時点に於いては、価格修正は現実的ではないというのが大方の見方で、「これ以上の価格調整については絶対ないよう要請する」ということで一致した。

いづれにしても、家庭紙の市況は今後の洋紙メーカーの動向が鍵を握っているわけで、洋紙の早期の復活を祈るばかりである。

尚、集荷部を代表して富士迄出向いて頂く松井副理事長と宮崎集荷部長には大変ご苦勞様でございます。集荷の存在と重要性を改めて訴えて頂くとの事、宜しくお願い致します。

最後になりましたが、会議終了後、和やかに懇親会を行いました。

## 第7回組合ゴルフコンペ開催

平成21年6月7日(日)

プレステージカントリークラブ 西コース

参加:7組28名

暑 中 御 見 舞

優勝 (株)新井商店 新井勝夫

準優勝 (有)宏栄紙業 坂内大介

3位 (株)赤松商店 赤松源裕

総勢28名、7パーティによる恒例の組合ゴルフコンペが盛大に行われました。



## 組合員の広場

### 「今日、この頃」その(6) 二世は花盛り

元事務局長 三沢 康男

世はまさに二世ブームである。もっとも顕著なのが政界であろう。なにしろ時の最高峰の内閣総理大臣の殆んどがそうであるから、これこそ二世

ブーム花盛りである。福田康夫と父起夫、安部晋三と晋太郎、小泉純一郎と純也とあげられるように、いとまがないほどだ。それと同時にスポーツ界、芸能界でも探すのに苦労しないほどだ。これにはそれなりの遺伝と環境、努力と、その背景には筆舌にならないなにかがあるのだろうか。またおいしい商売だから引き継ぐのであろうか。財界における二世達を、私はあまり知らないが、多分創業を継ぐケースの二世が多いのではないか。

さて、この親にしてこの子あり、又はその子にしてその親あり、どっちでもいいが、父子鷹として、もてはやされるのが芸能界とスポーツ界に多いのが、何でだろうか。先ず映画界では、ずばりそのものの「父子鷹」の題名映画があった市川右太衛門と北大路欣也があげられる。右太さんの当り役、早乙女主水之介の「旗本退屈男」三ヶ月傷のメイクがそっくり中のそっくりであったのが目に浮かぶのは異論がない。

他にも長谷川一夫と林成年、月形龍之介と月形哲之介が、あまり知られてないが二世同士である。月形の出演映画「人生劇場」の吉良常役を演じて圧巻の演技をしているのが、なつかしい。阪東妻三郎には三人の息子田村高広、正和、亮とが居て、各れも時代劇、現代劇でも活躍していた。いま話

暑 中 御 見 舞

題の松方弘樹と目黒裕樹のオヤジが剣豪のイメージの高い近衛重四郎であったのは見逃せない。剣豪と云えば、大河内伝次郎、片岡千恵蔵、嵐寛寿郎には、二世が居なくて残念だ。

さて、視点を現代劇畑に向けると、いるいる二世は花盛りである。映画界華やかな頃の松竹蒲田の三羽鳥と云われた上原謙、佐野周二、佐分利信には、佐分利を除いて、上原には加山雄三、佐野には関口宏と父親と対等の二世がスターとなっている。時代がさがって松竹大船の三羽鳥の高橋貞二、佐田啓二、鶴田浩二には、唯一佐田に中井貴一がいるが、それ以外の二枚目スターの若原雅夫、池部良、宇佐見淳にも後継者がいないのが残念だ。

さて、野球界であるが、昨年の甲子園出場を得た埼玉浦和学院の森士監督とエースの森大が文字通りの父子鷹であったのが楽しかった。



かつての長嶋茂雄と一茂と、その対抗視された野村克也と克則といたが、どちらも同じチームで活躍して、親が監督であって、息子が選手であった。各れも親の名前の一字をもらっていた。その頃の名選手の中で、鶴岡一人（いっとき山本一人）と藤村富美男が注目であるが、各れも法政大学で活躍したのはオールドファン以外の若手の方がご存知かな。鶴岡の息子は泰と云って、卒業後はPL学園の高校監督での日本一をゲットしているが、その後母校法大での監督となり、立教大との優勝決定戦では敗れてしまい、大学の優勝監督にはなれなかったのである。それを拒んだのが、立大横川賢次監督と息子義生親子であった。

他にも大学野球界においては、早稲田の荒川博と堯、立大の高林恒夫と孝行、明治大高田繁と進、と居たが息子の応援によく神宮球場へ来ていたのは当然の関係であろうが、最も注目されたのは明大の野村選手の母親のサッチーこと沙知代であった。

以上は有名な二世選手であるが、二世が出ないのが、何故か文学界と歌謡界である。著名作家でも芥川龍之介が他分野で役者芥川比呂志、作曲家芥川也都志が出ているが文筆における二世は見当たらないのが現状である。歌謡界の歌手にも、引継ぐのがむずかしいのか二世が出ない。かろうじ

## 暑 中 御 見 舞

て女性歌手に若干いるぐらいである。かの有名な東海林太郎、藤山一郎、岡晴夫、小畑実、田端義雄、霧島昇等にも二世が出ていない現状である。最近の五木ひろし、細川たかし、北島三郎にも見当らない現状である。かろうじて女性歌手にて、藤圭子と宇多田ヒカル、瀬川伸と瀬川瑛子とそのムスメが活躍しているが華々しくあまり知られていない。

もう一度野球界に戻るが、スーパースターの川上哲治、木下弘、王貞治、中西太、稲尾和久、村山進、小山正明、等々二世選手は、野球界に関係しなかったが、他の分野では芽が出ているのは流石である。それにしても、娘さんが多かったのも運命的であろうか。

日本スポーツの国技と云われる大相撲では二世貴の花に二人の息子若花田、貴花田が各れも横綱になっているのは稀有なことである。名人横綱と云われた、栃錦、大横綱大鵬も理事長北の湖にも後継者の二世が見当らないのが寂しい。

さて、昨年オリンピックにおいて、二世アスリートはいたか。かろうじて、ハンマー投げの室伏広治の父重信とレスリング浜口京子とアニマル浜口ぐらいしか私は知らない。

さて、今や二世達の時代じゃなくて、最早や注目されているのが孫である。アマ高校野球で今年脚光を浴びたのが誰もが知っているプロレス力道

山の孫、慶応高校ピッチャー田村圭であったのは忘れられない。田村はおそらく慶応大学へ進学して神宮でまた活躍をふりまくであろう。政界でもいるいる、うんという。麻生太郎はなんと戦後日本の宰相吉田茂の孫であるし、与謝野馨は与謝野晶子の孫である。最早や孫の時代だ。私の孫が東大生であるから将来が楽しみである。なんであろうと、若い力と新しい感覚を発揮して、無限に拓がる可能性を楽しみにしている今日此の頃の私である。(敬称略)

## ♪ ことわざミニ知識 ♪

「<sup>り</sup>李<sup>か</sup>下<sup>かんむり</sup>に冠をたださず」

李(すもも)下で冠の曲がっているのをなおすと、李の実を盗むのかと疑われるということから、他人の嫌疑を受けやすい行為は避けるようにせよという意。・・・広辞苑

政治家が疑惑をもたれる時に、よく使う表現となっている。

\*今回より「ことわざミニ知識」がスタートしました。今後も広報誌のどこかに登場しますので、どうぞよろしく願いいたします。(広報部)

暑 中 御 見 舞

## 支部スケジュール

### 千代田支部

納涼会 8月29日(土) 屋形船  
 支部会 9月7日(月) 水道橋 茶の家  
 支部会 10月6日(火)

### 中央支部

支部会 9月11日(金)  
 支部会 10月9日(金)

### 文京支部

納涼会 8月8日(土) 飯田橋トリノ  
 支部会 9月8日(火) 大塚すし常本店

### 台東支部

支部会 9月中旬

### 荒川支部

納涼会 8月22日(土) 隅田川屋形船

### 足立支部

支部会 未定

### 山手支部

家族従業員慰安会  
 8月1日(土) 椿山荘 pm6:00  
 支部会 9月19日(土) やなぎ  
 支部会 10月19日(月) やなぎ

### 城南支部

ゴルフコンペ 8月2日(日)  
 支部会 9月は未定

### 江墨支部

支部会 9月18日(金) 吉野寿司  
 支部会 10月20日(火) 吉野寿司

### 城北支部

日帰り旅行 8月2日(日) 山梨  
 支部会 9月11日(金) 地球飯店  
 支部会 10月9日(金) 地球飯店

### ◎直納部委員会及び納涼会

8月28日(金)  
 委員会 (pm5:00～)  
 納涼会 (pm5:30～) 伊豆栄「梅川亭」

### ◎組合事務局夏季休暇

8月12日(水)～16日(日)  
 (15・16日は通常、土日休み)

暑 中 御 見 舞

# お 知 ら せ

## [8月9月会議・催事予定]

### [8月予定]

8月 4日(火) 第7回古紙リサイクルアドバイザー講習会 (pm6:30～)  
組合会議室  
台東・足立・山手の3支部と  
東京返本加工協同組合、他の  
振替者

8月12日(水)～16日(日)  
組合事務局夏季休暇  
(15・16日は通常、土日休み)

8月24日(月) 東京返本加工協同組合総会  
総会 (pm3:00～)  
懇親会 (pm5:00～)  
東京ドームホテル

8月28日(金) 直納部委員会及び納涼会  
共販輸出協議会 (pm4:20)  
委員会 (pm5:00～)  
納涼会 (pm5:30～)  
伊豆栄梅川亭

### [9月予定]

9月 3日(木) 常任理事会 (pm2:30～)  
理事会 (pm4:00～)  
組合会議室

9月15日(火) 東資協との懇談会 (pm4:00～)  
懇談会 (pm5:30～)  
組合会議室

9月30日(水) 古紙センター業務委員会  
(pm1:30～) センター会議室  
" 全原連役員会 (pm3:00～)  
センター会議室

## [古紙価格]

### [東資協の古紙4品の標準売値]

平成21年6月8日現在

新聞	6～7円	(横ばい)
雑誌	3～5円	(横ばい)
段ボール	5～6円	(横ばい)
色上(並)	3～5円	(横ばい)

## [古紙品質調査事業]

平成21年4月～6月価格

[新聞 古紙]	14,000円/トン
[段ボール 古紙]	16,000円/トン

## [訃報]

- ・城北支部…(有)武田商会(代表者 武田誠一郎様)の前社長 武田良次様(享年79)が平成21年6月22日(月)にご逝去されました。
- ・文京支部…(株)近吟紙業(代表者 近藤一郎様)のご母堂 近藤キノ様(享年97)が平成21年7月2日(木)にご逝去されました。

## 会議概要 [6月]

### 6月度定例理事会

[平成21年6月3日(水)] PM 4:00

出席理事 27名 於) 組合会議室

#### 近藤理事長挨拶

先月は総会も終わり、正副理事長も留任という事で今後もよろしくお願ひ致します。

市況は、古紙原料の大量の輸出により在庫の調整ができつつあり、底入れした感が見受けられます。今後の市況の安定のためにどのように取り組んでいくのか、全原連と共に今後の課題としていかなければいけないと思います。今月から古紙リサイクルアドバイザーの講習会が4回にわたり開催されます。静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会もあり、来月は製本工組との古紙関係協議会があり、9月には東資協との懇談会も控えており、大変忙しくなってきますが本日もよろしくお願ひ致します。

#### [各部報告]

**[総務部]** 組合会館テナント募集の進捗状況については変わらず応募なし。テナント管理不動産会社(八千代不動産)については、変更していく方向ですすめる。

#### [直納部]

6月25日の静岡県紙業協会家庭紙部会に向け6月11日に集直正副委員長会議、6月18日に直納部会議を開催し対応を検討する。前回は、家庭紙メーカー側の一方的な意見が優勢してしまったので、今回はそのような事がないように臨みたい。市況全般に関しては、価格面で5月に下げ止ま

るが発生が悪い。組合の6月の共販輸出もスキップ対応とする。市場全体としては底入れした感がある。6月の関東商組の共販輸出価格は若干、上がった。輸出については港に近い地域では新聞、段ボールに関しては2ケタになっている所が多いが、国内と比べるとまだ安値である。6月に入り中国国内の内需が良くなった。国内はまだまだで、受注のカットはあるが回復している所もありメーカー間の格差が出ている。輸出は、このペースでいくと今年500万トンに迫る勢いである。

#### [品目別市況]

**[家庭紙]** 5月連休明けから発生が極端に落ちている。値上げについては見送りとなった。今年の初めから輸出を多くしたため在庫が調整できてきた。

**[新聞・雑誌]** 新聞の発生は減少。製紙メーカーは、ある程度、古紙の在庫の調整ができてきた。雑誌は、まだまだで苦戦状態。7月くらいまでは堅調にいくのではないかと。

**[段ボール・台紙]** 輸出が多かった。段ボールは飲料、青果物のオーダーは増えても、家電と自動車関係が良くない。

上台紙は、とってもらえず売りづらい。

**[台紙]** 発生は減っている。価格は雑誌と同じような傾向にある。使用量も減っている。

**[オフィス古紙]** 発生は、増えていない。輸出価格はアメリカから比べると日本の方が少し安いのではないかと。

**[返本雑誌]** 発生は前年に比べ10%の落ち。国内メーカーの引き合いが良くなってきた。

#### [集荷部]

発生が20%ほど落ちている。6月に入り特に酷く、例年よりも時期が早まっている。

**[広報部]**

広報誌は現在、5月総会号の発行段階に入っている。総会号は正副理事長の挨拶と総会が中心で、7月号は業務部長の挨拶をメインに考えている。その他に新理事の紹介等も掲載予定である。今後は今までのような口頭ではなく、文章で依頼するようにする。役員の改選があったので新しい総合名簿を9月に作成について提案をしたい。

**[事業部]**

製本工組との古紙関係協議会に協力をしていきたい。

**[青年部]**

青年部の総会を無事に終えることができた。6月7日の組合コンペの準備について進行中である。秋に王子製紙の工場見学を検討している。

**[近代化推進事業委員会]**

経営革新委員会：古紙商品化適格事業所の更新について6月10日に経営革新委員長（瀧本委員長）を迎えて討議と確認をする。参加者は正副理事長、経営革新委員、事業部、集荷正副部長直納部長の予定。古紙リサイクルアドバイザーの講習会を6月30日（火）、7月15日（水）、7月29日（水）開催する。今回は、認定を受けたが、まだ講習を受けていない方が受講対象。

**集直正副委員長会議**

[平成21年6月11日（木）] pm4:00  
出席委員 15名 於）組合会議室

**近藤理事長の挨拶**

このところ全体の景気の流れが少し変わってきているように思われる。家庭紙メーカーは、今後

も減産を強化するというニュースも入ってきている。本日は家庭紙部会との懇談会に向けての情報交換をしていきたいのでよろしくお願いします。

**[直納部より]****市況全般について**

国内は相変わらず変化なしで、国内外とも底をついた感がみられる。輸出は3月～5月まで多い状況。6月の組合の共販輸出はスキップ扱い。裾物3品とも発生が悪かった。

**[家庭紙原料について]**

毎月、製品の生産と出荷は、ほぼ同じに出ている。製品価格は下落していくのではないかと。夏に向かって非需要期。家庭紙メーカーは在庫を持っている。洋紙メーカーの動向と発生減を心配している。家庭紙メーカーはこれ以上、製品価格を下げたくない。原料問屋の在庫は、今後、減っていくのではないかと。発生と洋紙メーカーの動向がポイントとなる。

**[集荷部より]**

発生が20～30%落ちている。学校関係で教科書が薄くなってきており、前期、後期と分けている。老舗で中堅どころの印刷会社が経営を圧迫されており、秋口に大きな変化があるかもしれない

**「静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会について」**

前回の懇談会で圧倒的に安定供給の要望が多かった。組合側としては、現在の発生状況を知らせることと、今後、家庭紙メーカーに対して安定供給を考える事を伝える。

## 古紙センター業務委員会

[平成21年6月15日(月)] pm2:30～  
於) 銀座ラフィナート

- [1] 平成21年度第1回評議委員会、第45回常任理事会の報告
- [2] 業務委員会委員の改選について
- [3] 平成21年7月～12月段ボール、新聞の消費計画について
- [4] 古紙の需要・市況動向について  
(ページ数の関係で割愛させていただきます)

## 全原連 平成21年度 第2回役員会

平成21年 6月15日(月) pm4:00～4:45  
於) 銀座ラフィナート

理事・監事 59名:出席 59名(内、委任出席 31名)  
欠席 0名

### (1) 平成21年度 第1回臨時総会

日時:平成21年6月15日(月) pm4:00～  
場所:銀座ラフィナート7階「松風の間」

会員総数:17組合(出席 13組合)

議長:栗原正雄全原連理事長

### 議案審議

第1号議案:平成21年度理事補選案承認の件

中国地区製紙原料直納商工組合選出 本田市郎  
理事退任に伴い、補欠理事候補として中国地区製紙原料商工組合より、本田誠治(株式会社本田春荘商店)推薦。

任期は定款第19条2項により残任期間とする。

### (2) 古紙再生促進センター 関係

- 業務委員会(6月15日開催)

◎平成21年度第1回評議委員会、第45回通常理事会の報告に関する件。

- ・新任理事:石田隆理事長、高嶋良昭副理事長、馬城文雄副理事長
- ・退任理事:堀川澈二理事長、大坪清副理事長、山本信能副理事長
- ・新任監事:須長利行
- ・退任監事:山室泰洋

◎平成21年7～12月段ボール・新聞・雑誌の消費計画に関する件。

### ・段ボール:

4～6月見直案	1,766,093t	(前年比 88.1%)
7～9月見直案	1,803,236t	(前年比 87.5%)
10～12月計画案	1,862,855t	(前年比 95.3%)
7～12月計画案	3,666,091t	(前年比 91.3%)

### ・新聞:

4～6月見直案	1,047,916t	(前年比 90.2%)
7～9月見直案	1,047,457t	(前年比 92.3%)
10～12月計画案	1,090,786t	(前年比 103.1%)
7～12月計画案	2,138,243t	(前年比 97.5%)

### ・雑誌:

4～6月見直案	576,443t	(前年比 88.8%)
7～9月見直案	570,823t	(前年比 94.5%)
10～12月計画案	577,673t	(前年比 96.8%)
7～12月計画案	1,148,496t	(前年比 95.7%)

◎業務委員会委員の改選に関する件。

- ・改選に伴う業務委員会委員候補者選出  
(各地区合計 34名)

### ◎その他

平成21年度第4回業務委員会:

平成21年7月27日(月) pm1:30  
センター会議室

### (3) 業界 関係

#### ◎経済産業省関係

- ・WTOの協定の中で「TBT協定」という工業製品等に対する各国の規制や規格等による貿易への障害をなくそうという協定があり、今般インド、インドネシアにおける紙くずに関する輸入検査措置についてアメリカがWTOのTBT委員会への通報を考えているとのこと。

全原連としては規制の必要ない旨を回答する。

#### ◎段ボールリサイクル協議会関係

- ・第9回通常総会（平成21年6月9日開催）についての報告。

### (4) 全原連 関係

#### ◎審議事項（役員会上程、承認事項）

- ①「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定に関する件。

- ・古紙商品化適格事業所：

- ・5月15日（1社、1事業所）

- ・累計（398社、798事業所）

リサイクルアドバイザー：5月15日（2社2名）

累計（422社、1,798名）

### (5) 各委員会報告

#### ●経営革新委員会

- ・優良性評価事業「古紙商品化適格事業所認定」制度の第1回更新を平成22年3月末期限として実施する。
- ・優良性評価事業「古紙リサイクルアドバイザー認定」制度について未講習者は認定講習を引続き実施し、推薦認定は平成22年3月末を以って修了する。（平成22年4月以降試験認定とする）
- ・優良性評価事業「古紙リサイクルアドバイザー」業務知識テスト作成及びインストラクター養成の検討。

- ・「日本古紙品質認定（J-BRAND）制度」事業について平成22年度中の実施を目標とする。また、制定委員会を設立（平成21年10月予定）し、事業内容を決定する。委員会構成員は全原連正副理事長、単組理事長、ブロック長、委員会正副委員長とする。

- ・優良性評価事業の広報事業、作業安全（安全手帳の発行）・防災推進支援事業、取引に係る決済条件改善事業

#### ●需給委員会

- ・国内古紙需給安定システム検討委員会で各地区の意見・考え方のフリートーキングを行い、余剰時及び古紙不足時の対策を把握し検討する。製紙メーカーは未だ検討会を立ち上げていない。経済産業省紙業課は積極的に支援体制にある。

#### ●IT推進委員会

- ・ホームページの見直し・「製紙原料卸システム」の見直し等継続事業推進。

#### ●渉外広報委員会

- ・2009年エコプロダクツに出展予定のパネル作成。
- ・各地区の広報誌を全原連ホームページに掲載が可能か検討。

## 直納部委員会

[平成21年6月18日（木）] pm4:00～  
出席委員 18名 於）組合会議室

#### [市況について]

家庭紙は5月、6月の値下げについては止まっている。ただ製品価格が下落してきている。市況全般では輸出価格が若干、上がってきている。国内の需要は底を打ったのではないかと思われる。

**品目別****[上白]**

発生が悪くメーカーの使用が落ちている。その分、輸出に向いている。

**[段ボール]**

発生が悪く10%くらい落ちている。輸出は裾物3品の価格が上がっている。

**[新聞、雑誌]**

5月中頃から回復に向かっている。発生が悪く特にチラシの発生が悪い。発注をカットされても余剰感がなくなってきた。

残本類も落ち込みが激しい。雑誌も悪く印刷、製本関係が壊滅状態である。

**[オフィス古紙]**

全般的に発生量は落ちてきている。洋紙メーカーの動向により流れが変わってくるのか。

**[家庭紙について]**

上物は5月、6月と値下げが止まった。発生状況は悪く、4月～5月は15～20%の減である。ケント古紙は18%の減少。模造よりケントの発生の落ち込みが大きい。今まで溜まっていた在庫が急激に減ってきたようである。まだ洋紙の動向が見えていないのが現状。家庭紙メーカーの製品在庫は増えつつある。すべての家庭紙メーカーが製品価格の維持に努めている。古紙の入りに温度差が出てきているため、家庭紙メーカーは安定供給を要望してくるのではないと思われる。

\* 全体的には発生は20%の減。6月の組合のケントの共販輸出もスキップ対応とした。

日程：直納部納涼会 8月28日（金）

海外メーカー工場視察研修

11月20日（金）～23日（月）3泊4日

場所は検討中

**古紙センター関東地区委員会**

[平成21年6月23日（火）] pm2:00～

於）古紙センター会議室

**[需要動向]** 09/1月 単位トン、

（ ）は対前年同月比、在庫の（ ）は在庫率

**[関東商組32社実績]**

[新聞]	仕入	77,000	(95.3%)
	出荷	79,037	(97.3%)
	在庫	18,845	(23.8%)
[雑誌]	仕入	60,828	(95.4%)
	出荷	64,779	(99.5%)
	在庫	12,975	(20.0%)
[段ボール]	仕入	126,753	(98.0%)
	出荷	128,623	(100.3%)
	在庫	24,953	(19.4%)

**[関東・静岡実績]**

[新聞]	入荷	231,652	(83.9%)
	消費	239,382	(91.2%)
	在庫	148,387	(62.0%)
[雑誌]	入荷	113,860	(83.4%)
	消費	117,913	(87.4%)
	在庫	73,021	(61.9%)
[段ボール]	入荷	261,897	(86.2%)
	消費	251,980	(86.3%)
	在庫	124,588	(49.4%)

**[業者側コメント]**

[新聞・雑誌] 新聞に関しては、チラシの部数の減少に歯止めがかかってきた。新聞のチラシは減ったがポスティングのチラシが増えてきた。

雑誌も良くない。10%ほど入荷が減っている。

[段ボール] 段ボールは、メーカーの生産が良くない。出荷に関しては入荷分が右から左へ出ている状況である。問屋在庫は適正在庫に近づきつ

つある状況である。

#### [メーカー側コメント]

新聞の出荷は、紙の中ではいい方である。発生が落ちてはいるが在庫はなんとかなっている。

段ボールの生産は1～3月が89%、4月が93%、5月が約87%であった。6月は92%と、もちなおしたと思ったほどではない。底にきたのではないかと思われるが、ただ伸びてはいない。

## 編集後記

広報部副部長 清水 弘允

A4版ヨコ書きに変更した広報誌としては今回が2回目の発行になります。広報部としては読者である支部員の皆様がA4版ヨコ書きを、どのように感じられているか気になります。少しでも読みやすく有意義な広報誌にするよう今後も工夫して行きたいと思いますが、同時に何でも替えればいいと言う事でもないので、歴史ある東京協組として残すものは残し、替えるべきは替えると言うバランス感覚が必要ではないでしょうか。

組合本部及び各支部で行われた活動の報告、それに今後のスケジュール記事は更に充実して行きたいと思います。また仕事とは直接関係ない趣味とか知識に関する記事も扱って行きたいと思います。今回は「ことわざミニ知識」としてTV、新聞などでよく聞くけれど、もうひとつ意味がハッキリしない「ことわざ」を語源から説明したマメ知識として入れてみました。今後も「ことわざ」に限らずチョットしたマメ知識を掲載したいと思います。またヨコ書きでなければ書けない記事も掲載したいと思っています。次号以降をご期待ください。

さて来月は8月。暑い暑いと言ってお盆が過ぎてホッとするともう今年も4ヶ月しか残りません。あまり先を急がず暑さも工夫次第で趣が変わりますから、生ビール以外の楽しみも見つけて下さい。いいアイデアがあったら独り占めせず広報誌で公開してください。お待ちしております。